

## 「蜷川実花展 with EiM：彼岸の光、此岸の影」

### 京都市ふるさと納税の返礼品として 特別限定コラボアイテムが続々登場！



※返礼品デザインイメージ

©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

このたび、蜷川実花および各分野のスペシャリストによるクリエイティブチーム EiM（エイム）として挑む「蜷川実花展 with EiM：彼岸の光、此岸の影」を2025年1月11日(土)～2025年3月30日(日)まで、京都市京セラ美術館にて開催いたします。蜷川実花、関西過去最大規模の本展の開催を記念し、

京都市ふるさと納税の返礼品として特別限定コラボレーションが実現！

ふるさと納税返礼品でしか手に入らないスペシャルなグッズが登場いたします。

蜷川実花の色鮮やかな世界に触れ、心を彩るひと時を是非ご自宅でもお楽しみください！

#### 第1弾グッズ

- ① 【ふるさと納税限定・蜷川実花展】 聖護院八ッ橋総本店 聖護院八ッ橋 24枚 箱入
- ② 【ふるさと納税限定・蜷川実花展】 中村ローソク 京和蠟燭5本セット
- ③ 【ふるさと納税限定・蜷川実花展】 山本本家 純米大吟醸原酒
- ④ 【ふるさと納税限定・蜷川実花展】 山本本家 梅原酒

※全てに「蜷川実花展 with EiM：彼岸の光、此岸の影」展覧会入場券（1名様分・電子チケット）が付きます。

<返礼品詳細> ※画像はイメージです。デザインは、若干変更になる場合もございます。

※全ての商品に「蜷川実花展 with EiM：彼岸の光、此岸の影」 展覧会入場券（1名様分・電子チケット）付

- ① 【ふるさと納税限定・蜷川実花展】 聖護院ハッ橋総本店 聖護院ハッ橋 24枚 箱入



蜷川実花の桜の作品をパッケージにあしらった、ふるさと納税限定デザインのハッ橋。

京都ハッ橋の老舗「聖護院ハッ橋総本店」とのコラボレーション。元禄二年（1689年）から330年以上続く昔から変わらない伝統の京銘菓。ふるさと納税限定パッケージに加え、ここでしか手に入らないオリジナルステッカー付き。

**寄付額：14,000円**

- ② 【ふるさと納税限定・蜷川実花展】 中村ローソク 京和蠟燭5本セット



展覧会キービジュアルからインスピレーションを得た5つのモチーフを描いた、ふるさと納税限定デザインの和・京蠟燭。創業1887年、和・京蠟燭一筋で製品を作り続ける中村ローソクとのコラボレーション。

日本独特の情緒や趣深さを有する和蠟燭。点火するとロウは液体となりますが、芯に吸い上げられて炎と共に蒸発するため、液だれもほとんどなく、ススも少ないのが特徴。環境にも優しい伝統工芸品です。

**寄付額：35,000円**

- ③ 【ふるさと納税限定・蜷川実花展】 山本本家 純米大吟醸原酒



蜷川実花の作品をラベルに用いた、ふるさと納税限定の純米大吟醸原酒。京都・伏見で300年以上酒造を続ける蔵元「山本本家」とのコラボレーション。

純米大吟醸を原酒のままじっくりと蔵にて熟成させました。時を重ねる毎に円やかさを感じる味わいに仕上がり、琥珀色の色合いと共に五感で味わって頂ける唯一無二の逸品。本製品のためにつくられた特別なラベルには、蜷川実花が撮影した桜の写真を使用しています。

**寄付額：42,000円**

- ④ 【ふるさと納税限定・蜷川実花展】 山本本家 梅原酒



蜷川実花の作品をラベルに用いた、ふるさと納税限定の梅原酒。

京都・伏見で300年以上酒造を続ける蔵元「山本本家」とのコラボレーション。京都産城陽の梅に日本酒ベースで漬け込んだ梅酒を原酒のまま瓶に封じ込めました。その梅原酒を4年もの月日をかけて熟成を重ね、本来の旨み以上の濃厚な仕上がりに。本製品のためにつくられた特別なラベルには、蜷川実花が撮影した梅の写真を用いています。

**寄付額：42,000円**

### <購入可能なサイト>

2024年11月25日（月）10時より、以下のサイトにて納税が可能となります。

- ふるさとチョイス
- ふるなび

### <第1弾申込期間>

2024年11月25日（月）10:00～2025年1月31日（金）まで

今後も新たな返礼品の追加を予定しております！

#### 【ふるさと納税に関するお問合せ】

申し込み後の内容変更・寄附金受領証明書・ワンストップ特例申請書

JTB ふるぽ（ふるさと納税）コールセンター

TEL：050-3146-8897 10:00～17:00 年中無休（1/1～1/3を除く）

よくあるご質問・お問い合わせフォーム：<https://faq.furu-po.com/>

「蜷川実花展 with EiM : 彼岸の光、此岸の影」  
*NINAGAWA Mika with EiM : Lights of the beyond, Shadows of this*



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

本展覧会は、本展のために制作した映像によるインスタレーション、立体展示などで構成。

京都国際観光大使も務めた蜷川実花が、京都の街からインスピレーションを受け、EiM とともに手掛ける、10話におよぶ”絵巻体験”の展覧会になっております。

今回の「蜷川実花 with EiM 展」では、鑑賞者自身が物語のある展示の主人公となり、作品に滲み出たアーティストの内面を通し、自分の内面も覗くことで、自身の存在や周囲の世界と向き合う体験へと誘います。

---

## 展覧会概要

---

- ・会期：2025年1月11日（土）～2025年3月30日（日）
- ・開館時間：10：00～18：00（最終入場は17：30まで）
- ・休館日：月曜日※祝・休日の場合は開館
- ・会場：京都市京セラ美術館 | 新館 東山キューブ（京都府京都市左京区岡崎円勝寺町124）
- ・主催：蜷川実花展 with EiM : 彼岸の光、此岸の影 実行委員会
- ・協賛：大成建設 ガトーフェスタ ハラダ
- ・協力：LEDTOKYO株式会社
- ・公式サイト：<https://ninagawa-eim2025kyoto.jp/>

## チケット

前売りチケット販売中。チケット販売の詳細は、公式サイト(<https://ninagawa-eim2025kyoto.jp/>)をご参照ください。

券種	前売券	当日券
一般	¥2,100	¥2,300
大学・専門学校生	¥1,400	¥1,600
高校生	¥900	¥1,100
小中学生	¥600	¥800

\* 団体割引料金（団体は 20 名以上前売り料金）  
\* 障がい者手帳等：本人及び介護者 1 名無料  
\* 未就学児のお子様は無料、保護者（中学生以上）の同伴が必要

## クリエイティブチーム EIM

写真家・映画監督の蜷川実花と、データサイエンティストの宮田裕章、セットデザイナーの ENZO、クリエイティブディレクターの桑名功、照明監督の上野甲子朗らで結成されたクリエイティブチーム。プロジェクトごとに多様なチームを編成しながら活動する。

主な作品発表に、「胡蝶の旅 Embracing Lights」（安比Art Project、2022 年）、蜷川実花「残照 / Eternity in a Moment」（小山登美夫ギャラリー前橋、2023 年）、「蜷川実花展 Eternity in a Moment 輝きの中の永遠」（TOKYO NODE、2023 年-2024 年）、「蜷川実花展 with EIM：儚くも煌めく境界」（弘前れんが倉庫美術館 2024 年）、「深淵に宿る彼岸の夢」（森の芸術祭 晴れの国・岡山 満奇洞 2024 年）など。

### ■蜷川 実花 / 写真家・映画監督



写真を中心として、映画、映像、空間インスタレーションも多く手掛ける。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。2010 年 Rizzoli N.Y. から写真集を出版。

『ヘルタースケルター』（2012）ははじめ長編映画を 5 作、Netflix『FOLLOWERS』（2020）を監督。写真集 120 冊以上を刊行、個展 150 回以上、グループ展 130 回以上と国内外で精力的に作品発表を続ける。個展「蜷川実花展：Eternity in a Moment 瞬きの中の永遠」（TOKYO NODE 2023 年 12 月-2024 年 2 月）にて 25 万人を動員。最新写真集に『Eternity in a Moment』。

コメント：ここ何年か集中して、アート作品の制作により一層力を入れ、大規模な展覧会をいくつもやらせていただきました。その中でも今回京都市京セラ美術館で展覧会ができるというのは、私にとってとても大きなことです。これまでも様々な作品に込めてきたコンセプトである「虚構と現実」「こちら側とあちら側」「光と影」。今回も何かの境界線を越えたり、境目が揺らいで融合したり、自分の中を深く旅するような体験をしていただける展覧会を目指しています。

クリエイティブチームEIMと共に新しい扉を開けたような、進化した作品展示にしたいと、日々つくり続けています。

より深く自分の中に潜っていけるような、新しい扉を開くような、イマーシブ体験をつくります、ぜひ観にいらして

## ■宮田 裕章 / データサイエンティスト・慶應義塾大学教授



データサイエンスなどの科学を駆使して社会変革に挑戦し、現実をより良くするための貢献を軸に研究活動を行う。2022年より蜷川実花、ENZOらとともに結成したクリエイティブチーム EiM にてエグゼクティブディレクターとしても活動している。本展では京都市京セラ美術館事業企画推進室ゼネラルマネージャー高橋信也氏と共同キュレーターも務める。

コメント：この度、文化と歴史が交差する京都市京セラ美術館で、展覧会「彼岸の光、此岸の影」を開催させていただきます。

来場者の皆さんが巡る深淵は、誰も心の象風景にあるようで、しかし誰も見たことがない—そんな感覚を呼び覚ます空間です。

時間の揺らぎの中で、多様な色彩をまとう光と影が現れます。生と死、儚さと普遍、諦観と希望などが交錯する体験は、心の中を巡る旅でもあります。

本展覧会が視覚的な美しさにとどまらず、存在や死生観に触れる体験となり、皆さんにとって忘れがたいものになることを私たちは願っています。

## ■ENZO / セットデザイナー・アーティスト



R.mond inc. 代表。テレビコマーシャルやミュージックビデオ、映画作品などの美術セットデザイン及び製作を手掛けている。その他、LIVE のセットデザインや店舗やビルフロアデザイン、ART 展やコレクション発表などイベントでの美術デザインにも携わる。

## ■桑名 功 / クリエイティブディレクター



企業のプロモーション拠点となる施設設計、ブランディングイベント、都市空間におけるサイトスペシフィックインスタレーションなど空間を軸とした体験のデザインを多岐にわたり手掛ける。

## ■上野 甲子朗 / 照明監督



PlayStation、ハーゲンダッツシリーズ CM や、椎名林檎、米津玄師、King Gnu、あいみょんなどの MV に携わる。主な映画作品に『その日、カレーライスができるまで』、『ヴィレッジ』など。UNDERCOVER などアパレルブランドのグラフィック撮影も手掛けている。

---

## 本展共同キュレーター

---

### ■高橋 信也 / 京都市京セラ美術館事業企画推進室ゼネラルマネージャー

蜷川実花の視覚表現は、展覧会を重ねるごとに明らかに進化している。進化への激しい情熱もさりながら、その華麗な表現と共にどこに向かって進化しようとしているのか？

永い歴史を飲み込んで、様々な伝統文化のインキュベーションともなった、ここ京都で、観客は「此岸」と「彼岸」をめぐる、新たな「薄明」の物語を目の当たりにすることだろう。

### ■宮田 裕章 / データサイエンティスト・慶應義塾大学教授